

身長体重測定・腹囲測定

検査の目的	肥満度・標準体重・BMI・腹囲
使用機材及び備品	身長計・体重計・メジャー・延長コード
取扱いの注意	<ul style="list-style-type: none"> ・落としたり、ぶつかけたりしないよう慎重に運搬する。 ・平らな堅い床に設置し、じゅうたん等柔らかい床、傾きのある場所はさける。 ・身長→体重と受診者が移動しやすいように気を配って設置する。 ・ケーブル類が受診者の障害にならないように機器の後ろにまとめる。 ・体重の表示が他の受診者に見えないように気をつける。 ・体重計はあらかじめ衣服分として1kg引く。 ・データが前回と大きく異なった場合、疑問を持ち再測定をする。位置に掲示する。
始業確認	<p><身長測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長計を一番下まで下げた状態で電源を入れ、「90. 0」cmと表示されるか確認する。 <p><体重測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れ、風袋として1kg引く。 <p><腹囲測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジャーが伸びすぎていないか確認。
検査の手順	<p><身長測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴をぬいで、かかとを後ろにつける。 ・頭を後ろにつけ、軽くあごを引いてもらい測定する。 <p><体重測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上着を脱いで体重計に乗ってもらい測定する。 <p><腹囲測定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーテンを開け受診者を呼び込む。 ・受診者自身に、肌着を持ち上げておへそを出してもらう。おへそ上を水平にメジャーを巻き付け測定する。(計測は0.5cmずつ)
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> ・受診票のそれぞれの欄に検査データを記入する。 ※その際、枠内に大きく丁寧に数字を記入する (OCR処理のため)
チェック項目	<ul style="list-style-type: none"> ・前回値がない場合、必ず本人に「今回の測定値はこちらになります」と確認し、担当印欄の”確認”に○をつける ・身長: ±1cm以上、体重: ±5kg以上、腹囲: ±5cm以上前回値と差があった場合は、必ず本人に確認し、担当印欄の”確認”に○をつける <p>※確認方法※</p> <p>「身長」・・・再測定し、いつも今回ぐらいの結果かどうか確認する</p> <p>「体重・腹囲」・・・①前回と多少差がございますので、ご確認ください。と言って受診者に渡す。</p> <p style="padding-left: 40px;">②どちらも受診者がもう一度計って欲しいと申し出た場合は、再測定する。</p>

受診者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で計測するための言葉がけをおこなう。 身長⇒「かかとを後ろにつけて立ってください、背筋を伸ばして軽くあごを引いてください。」 腹囲⇒「腕を下ろし、顔は正面を向いて普通に呼吸をしてください。」
コース変更時の処置	<ul style="list-style-type: none"> ・検査を拒否された場合、受診者に少し待ってもらい、責任者を呼ぶ。(検査は次の受診者へ進める。) ・責任者は事業所の担当者に伝え、検査の有無を決定する。 ・無理に検査を進めたり、怒ったりしない。
その他留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑したときほど、検査の姿勢の徹底をはかる。 ・計測は時刻や姿勢によって値の変動が生じることがある。 ・受診者の不満を放置しない。すぐに責任者に報告。 ・データが前回と大きく異なった場合、疑問を持ち再測定をする。 ・受診者との接触面をアルコールもしくは次亜塩素酸水で消毒する。
トラブル時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・前回値と大きく違う人が続いた →故障の可能性があるので実施責任者に直ちに報告する。
故障時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・始業確認時、または検査の途中で 機器の故障等があった場合は、直ちに責任者へ報告する
よくある質問	<p>Q: 洋服の分は引いているの？</p> <p>A: 衣服の分をあらかじめ1Kg引いています。</p> <p>Q: 年をとると背が縮むの？</p> <p>A: 背骨が曲がってくると縮むことがあります。また、1日の中でも午前と午後では若干差が出ます。朝起床時が一番高くなります。</p> <p>Q: 腹囲とウエストは違うの？</p> <p>A: ウエストはくびれ部分となり、腹囲はおへそ回りの測定なので数値が異なります。</p>